

令和7年度第2回舞鶴市文化振興審議会会議録（要約）

日 時：令和8年3月24日（火）13：30～15：00

場 所：舞鶴市総合文化会館 2階 会議室

出 席：（委員）中川委員長、直田副委員長、浦岡委員、立道委員、田中委員、
中西委員、金子委員、鈴木委員

（事務局）福田部長、森次長、横川課長、神村担当課長、佐藤係長、森下
欠 席：伊藤委員、上杉委員

傍聴人：0人

会議内容：

- 1 委員長開会挨拶
- 2 議題 ○令和7年度の取組状況について
- 3 報告 ○アート・プログラム・デリバリー要領の変更について
○令和7年舞鶴市優秀文化賞被表彰者
- 4 その他
- 5 部長閉会挨拶

議事内容：

2 議題

○令和7年度の取組状況について

（委員からの主な意見）

【文化財・資料館・引揚関連】

- **広報と連携**：事業No.15「文化財保存活用地域計画推進事業」のチラシのタイトル工夫が集客に寄与したと思う。課題のある事業No.20「田辺城資料館管理運営」や事業No.21「郷土資料館管理運営」にもそのノウハウを共有し、横の繋がりを強化してほしい。
- **教育連携**：事業No.33「赤れんが博物館管理運営」を通じた学習や、事業No.29「引揚記念館管理運営経費・海外引揚開始80年・世界記憶遺産登録10周年記念事業」の式典への生徒参加を通じ、引揚の史実に対する子供たちの関心を広げる活動を継続してほしい。
- **SNSの活用**：事業No.29「引揚記念館管理運営経費・海外引揚開始80年・世界記憶遺産登録10周年記念事業」のFacebookフォロワー数増加など、デジタルを通じた関心の広がりを感じる。

【音楽・芸術・イベント関連】

- **事業の継続と工夫**：事業No.1「アートスタート事業」や事業No.7「文化の見本市」など、子供の入り口となる事業を継続してほしい。
- **事業No.7「文化の見本市」**：参加意識の向上と安易な欠席を防ぐ観点から、現在は無料となっている講座の有料化を検討してはどうか。
- **地域連携の深化**：事業No.8「音楽を活かしたまちづくり事業(ミュージックコミッション事業)」における市内バンドの参加枠の拡大や、事業No.9「恐竜王国inまいづる」における早期に地域の文化芸術団体に情報共有し、協力体制を構築するなど、地域連携を深化していくと、より事業効果が出ると思う。

【福祉・交流・生涯学習関連】

- **人材育成と演出**：事業No.38「第43回舞鶴市障害者文化作品展」のマンネリ化を防ぐため、企画・演出ができるコーディネート人材の育成が急務であるとする。
- **生涯学習の広がり**：事業No.26「生涯学習推進事業(公民館コンサート)」において、音楽以外の分野（ダンス等）にも広がっていると感じる。

【施設運営・全体指標】

- **専門人材の確保**：事業No.42「総合文化会館自主事業」において、音響・照明等の専門的な後継者を地元で育てる講座等を検討してほしい。
- **透明性の向上**：事業No.12「文化事業企画懇話会運営」の議論内容を公開し、市民の理解と協力を得やすくすべき。また、事業全体を通じ、自立性や必要性を判断する明確な指標を策定してほしい。

3 報告

○アート・プログラム・デリバリー要領の変更について

- **内容**：事業No.3「アート・プログラム・デリバリー2025」について、来年度より要項を変更し、派遣分野の柔軟化と準備費の新設を行う。
- **意見**：準備費の新設は嬉しい。一方で、実施時期の分散や、将来的な分野拡大を見据えた準備が必要だと思う。

○令和7年舞鶴市優秀文化賞被表彰者

- **内容**：優秀賞3件を表彰した。今後は広報等での推薦周知も検討し、より広く推薦を受けられるような準備を進める。

4 その他

- **人材と組織**：文化と市民を繋ぐコーディネーターの育成、および事業間の横断的な実施を期待したい。
- **文化支援体制**：障害者が表現者となれる環境を整えるとともに、スポンサー制度を導入するなど行政の新たな施策開拓を検討してはどうか。